

ロンドン 2024 年 4 月 18 日

グリーン スチール生産を目指す中首特鋼集团有限公司向け Arvedi ESP を受注

- Arvedi ESP ラインは、従来の熱延鋼板生産ルートからグリーンスチール生産への移行における主力設備
- エンドレスモードで生産される熱延コイルの実証された高い品質、化石燃料の不使用中首特鋼が評価
- 操業による CO2 排出量ゼロがさらなるメリット

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は、中国、中首特鋼集团有限公司 (Zhongshou Special Steel Group 以下、中首特鋼) より、河北省欒州市にある同社の工場向けに Arvedi ESP ラインを受注しました。4 月 17 日にウィーンで行われた調印式には、両社のトップマネジメントの他、オーストリアの政府代表も出席し、このプロジェクトの重要性が強く示されました。

本工事では、当社のオーストリア、中国、ドイツにある拠点が機械設備一式とプロセス関連の電気・オートメーション設備を供給します。プラントのフル稼働は 2025 年末を予定しています。

最高のエネルギー効率

Arvedi ESP エンドレスストリップ生産圧延設備は、カーボンニュートラルな薄板鋳造・圧延設備として公式認定を受けている唯一のソリューションであり、高品質のエンドレス熱間圧延コイル (endless hot-rolled coil: eHRC) 製造の最もエネルギー効率の高いプロセスです。このため、LD 転炉 (BOF) と熱間圧延機からなる従来の製造ルートから、電気アーク炉 (EAF) と Arvedi ESP をベースとするラインへの移行に際して、中首特鋼は Arvedi ESP を選択しました。

中首特鋼会長 Zheng Ting Wen 氏談

「当社は、国内外市場において、グリーン スチール生産のフロントランナーとしてのポジションを確保する一方で、炭素国境調整措置 (carbon border adjustment: CBAM) 規制によって保護された市場での競争力もつけるという明確な目標を掲げています。Arvedi ESP 技術とその記録的な低カーボンフットプリントは、この目標を達成する上で重要な役割を果たすでしょう。」

プライメタルズ テクノロジーズ 上流部門責任者 Andreas Viehböck 氏談

「現在、世界中の鉄鋼メーカーが生産ルートの脱炭素化に取り組んでいます。中首特鋼は世界で12件目のESPプラント導入により、この取り組みに決定的な一歩を踏み出しました。 casting・圧延段階でのCO2排出量をゼロにするこの設備によるグリーンな鉄鋼生産への移行において、中首特鋼と緊密に協力することを楽しみにしています。」

ArvediグループCEO、Mario Arvedi Caldonazzo氏談

「約20年前、Giovanni Arvediは、Arvedi ESPを発明し、エンドレスストリップ生産のパイオニアとなりました。何年にもわたり改良を重ねた今日でも、Arvedi ESPは環境にやさしい鋼板製造において唯一の実績あるソリューションです。この技術により、中首特鋼はCO2排出量を大幅に削減しながら、高い生産能力を維持し、要求の厳しい鋼種への高まるニーズに対応することができます。」

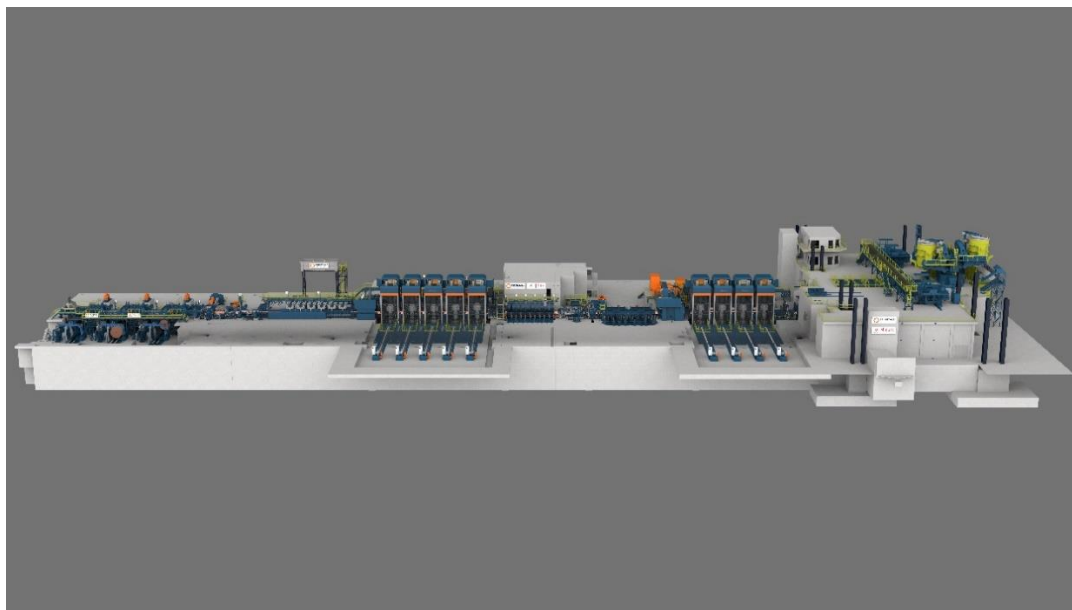
中国で9件目となる中首特鋼のESPプラントは、長尺鋳造機、ハイリダクションミルスタンド4基、仕上げミルスタンド5基で構成され、市場で最も強力なものになります。ストランド厚130ミリメートルの鋳造直後のスラブを圧延します。

中首特鋼は、高圧下能力による高い生産性で汎用鋼市場向け製品その他、コイル厚0.7~12.7ミリメートルの、自動車部門を含む高張力低合金鋼(HSLA)のニッチ市場向け製品の生産も可能になります。コイル厚の全範囲にわたり、フルエンドレスモードでの生産が行われます。

より高い生産性

Arvedi ESPラインには、最新のレベル2自動化ソフトウェアモデルと技術制御システムを採用した先進の電気・オートメーションシステムが組み込まれ、優れた製品品質と高い寸法精度を確保します。

さらに、当社のバルジング防止ソリューション LevConなどの自動化ソリューションが、一貫した高いレベルの生産性に貢献します。Arvedi ESPの高いスループットは、ストッパーの革新的な調整方法の導入により可能になりました。加えて LevConがバルジングの影響を補正し、鋳造速度を維持します。



プライメタルズ テクノロジーズ製 Arvedi ESP ラインの 3D 画像



ウィーンで行われた調印式にて 中首钢集团有限公司とプライメタルズ テクノロジーズの代表者

本プレスリリースと画像（報道での使用は無料）は www.primetals.com/press/に掲載しています。

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：石崎）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ SNS 公式アカウント

[linkedin.com/company/primetals](https://www.linkedin.com/company/primetals)

[facebook.com/primetals](https://www.facebook.com/primetals)

twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工業グループ 100%出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : primetals.com/jp

Primetals Technologies, Limited
A Group Company of Mitsubishi Heavy Industries
Communications

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road

W4 5YS London
United Kingdom